

平成25年度
西原町教育委員会事務事業の点検及び評価報告書
(平成24年度事業実績)

平成25年9月

西原町教育委員会

はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条に基づき、教育委員会の権限に属する事務の執行及び管理状況について点検及び評価を行いましたので、報告いたします。

この報告書は、平成 21 年度から、毎年作成し公表しておりますが、今後も報告書の内容充実に努め、町民に分かりやすいものにするために、必要な検討を加えていくこととしています。

西原町教育委員会としては、点検評価の実施を通じて、教育施策の検証と改善を図りながら、本町教育行政の着実な推進につなげていきたいと考えております。

平成25年9月

西原町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

1. 教育委員会の活動について

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、首長から独立した行政委員会として各都道府県、市町村に設置されており、5人の教育委員により組織され、その合議の下に、教育、文化、スポーツ等に関する教育行政の事務を行います。

通常の事務については、委員の中から選任された教育長を通じて執行管理を行いますが、教育行政の基本的な方針や委員会の規則や規程の制定、学校その他教育機関の設置や廃止、教育機関の職員の任免、事務事業の評価等は教育長に委任することはできず、委員会自らが執行管理をすることになっています。

西原町教育委員会では、毎月20日に教育委員会の定例会議を開催し、必要事項を審議し決定しています。また、教育委員会の主催事業や町の行事、各種の研修会等にも積極的に参加しています。

平成24年度の委員の構成及び定例会・臨時会の開催状況並びに各種行事等への参加状況は次のとおりです。

(1) 委員の構成

役職	氏名	任期	教育委員としての経歴		備考
			当初就任	勤続年月数	
委員長	前泊 加代子	H23.4.1～H27.3.31	平成 23 年度	2 年	委員長1年
委員長職務代理者	大濱 進	H24.4.1～H28.3.31	平成 24 年度	1 年	
委員	松岡 幸子	H22.4.1～H26.3.31	平成 22 年度	3 年	委員長1年
委員	下地 勝也	H21.4.1～H25.3.31	平成 21 年度	4 年	
教育長	波平 常則	H23.4.1～H25.3.31	平成 16 年度	2 年	教育長2年6ヶ月

(2) 会議の開催状況

会議の名称	開催日	場所	出席委員	案件
第1回(4月) 臨時会	平成24年4月2日	西原町教育委員会 教育長室	全委員(5人)	・議案第18号 教育委員長の選任について
第1回(4月) 定例会	平成24年4月18日	西原町役場 上下水道庁舎2階 会議室	全委員(5人)	・議案第19号 西原町学校給食費等滞納整理嘱託員に関する規程について ・議案第20号 平成24年度人事異動(学校管理職)について ・平成24年度学校計画訪問について ・第57回沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会、研修会、分科会参加割当について ・中頭地区市町村教育委員会連合会研修等日程について ・西原町教育委員会の成果と課題について
第2回(5月) 定例会	平成24年5月21日	西原町役場 上下水道庁舎2階 会議室	全委員(5人)	・議案第21号 平成24年度西原町一般会計補正予算(第1号)について ・第57回沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会研修分科会報告 ・中頭地区市町村教育委員会連合会総会・研修会の参加について
第3回(6月) 定例会	平成24年6月22日	西原町役場 2階大会議室	前泊加代子委員長 大濱進委員 松岡幸子委員 波平常則教育長	・議案第22号 西原町学校関係者評価委員会設置要綱の一部を改正する要綱について ・平成24年度(平成23年度分)西原町教育委員会の事務事業の点検・評価の概要について
第4回(7月) 定例会	平成24年7月20日	西原町役場 上下水道庁舎2階 会議室	全委員(5人)	・議案第23号 教育長の権限に属する事務の一部を委任する規程について ・議案第24号 西原町学校給食共同調理場管理規則の一部を改正する規則について ・議案第25号 西原町学校管理規則の一部を改正する規則について ・議案第26号 西原町立小中学校事務連携室運営要綱について ・議案第27号 西原町学校給食共同調理場運営に関する規程の一部を改正する規程について

第5回(8月) 定例会	平成24年8月20日	西原町役場 上下水道庁舎2階 会議室	全委員(5人)	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第28号 平成24年度(平成23年度分)事務事業の点検及び評価報告について ・議案第29号 平成24年度西原町一般会計補正予算(第3号)について ・学校訪問について ・西原南幼稚園敷地内の児童館設置について
第6回(9月) 定例会	平成24年9月20日	西原町役場 上下水道庁舎2階 会議室	全委員(5人)	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第30号 西原町教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程について ・議員からの情報公開請求について
第7回(10月) 定例会	平成24年10月22日	西原町役場 上下水道庁舎2階 会議室	全委員(5人)	<ul style="list-style-type: none"> ・工事請負契約締結について
第8回(11月) 定例会	平成24年11月20日	西原町役場 上下水道庁舎2階 会議室	前泊加代子委員長 大濱進委員 松岡幸子委員 波平常則教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度西原町一般会計補正予算(第5号)について ・議案第31号 平成24年度西原町一般会計補正予算(第6号) について ・西原東中学校生徒の教育相談事案について ・平成24年度市町村教育委員会研究協議会(第2ブロック)報告
第9回(12月) 定例会	平成24年12月20日	西原町役場 大会議室	前泊加代子委員長 大濱進委員 松岡幸子委員 波平常則教育長)	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第32号 平成25年度西原町一般会計予算について ・議案第33号 指導主事の増員派遣について
第10回(1月) 定例会	平成25年1月21日	西原町役場 上下水道庁舎2階 会議室	全委員(5人)	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第1号 西原町立幼稚園特別支援教育実施要綱の一部を改正する要綱について ・議案第2号 平成25年度 西原町教育委員会教育施策について ・教育の日授業参観について ・学校給食危機管理マニュアルについて ・西原町立学校徴収金取扱要領について

第2回(2月) 臨時会	平成25年2月4日	西原町役場 上下水道庁舎2階 会議室	全委員(5人)	<ul style="list-style-type: none"> ・議案第3号 機構改革に伴う関係規則の整備に関する規則について ・議案第4号 機構改革に伴う関係規程の整備に関する規程について ・議案第5号西原町立幼稚園特別支援教育実施要綱の一部を改正する要綱の一部について ・議案第6号 西原町教育員会事務決済規程の一部を改正する規定について ・議案第7号 平成25年度 西原町教育委員会教育施策について ・平成25年度 学校行事参加教育委員等の割り当てについて ・教育の日 授業参観等報告
第11回(2月) 定例会	平成25年2月20日	西原町役場 上下水道庁舎2階 会議室	前泊加代子委員長 松岡幸子委員 下地勝也委員 波平常則教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度 第7号補正予算について ・西原町こどもの読書活動推進会議設置要綱について ・次回教育委員会日程(2月臨時・3月定例)について
第3回(2月) 臨時会	平成25年2月22日	西原町役場 上下水道庁舎2階 会議室	全委員(5人)	<ul style="list-style-type: none"> ・人事異動(学校管理職)について ・平成24年度西原町教育委員会教育施策について ・社会教育委員との意見交換会について
第12回(3月) 定例会	平成25年3月15日	西原町役場 上下水道庁舎2階 会議室	全委員(5人)	<ul style="list-style-type: none"> ・次回教育委員会日程、教育委員辞令交付、研修会について

定例会12回、臨時会3回を開催しました。

(3) 研修会、勉強会等の参加状況

日付	場所	研修会等の名称	参加委員
平成24年4月13日	中頭教育事務所	中頭地区市町村教育委員会連合会第1回理事会	前泊加代子委員長

平成24年4月27日	北谷町(ちゃたんニライセンター)	第41回沖縄県市町村教育長協会定期総会並びに研修会	波平常則教育長
平成24年5月1日	西原町役場 上下水道庁舎2階会議室	教育委員情報交換会	全委員(5人)
平成24年5月10日 ～11日	宮古島市 (マティダ市民劇場、中央公民館 他)	第57回沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会・研修会	全委員(5人)
平成24年6月8日	沖縄科学技術大学院大学構内 恩納村コミュニティセンター	中頭地区市町村教育委員会連合会総会・研修会	前泊加代子委員長 大濱進委員 松岡幸子委員 波平常則教育長
平成24年7月10日	西原町役場 2階大会議室	教育委員会事務事業点検評価(第1回ヒヤリング)	前泊加代子委員長 大濱進委員 松岡幸子委員 波平常則教育長
平成24年7月12日	中頭教育事務所	平成24年度中頭地区市町村教育委員会連合会新任教育委員研修会	大濱進委員
平成24年7月25日	西原町役場 第5庁舎会議室	教育委員会事務事業点検評価(第2回ヒヤリング)	前泊加代子委員長 大濱進委員 松岡幸子委員 波平常則教育長
平成24年8月3日	中城村吉の浦会館	平成24年度町学力調査結果分析説明会 (町学校部会研修会)	前泊加代子委員長 波平常則教育長 大濱進委員 松岡幸子委員
平成24年8月17日	西原町役場 上下水道庁舎2階会議室	教育委員会事務事業点検評価(内部評価会議)	前泊加代子委員長 大濱進委員 松岡幸子委員 波平常則教育長
平成24年10月1日	那覇市民会館 中ホール	平成24年度沖縄県市町村教育委員会研修会	全委員(5人)
平成24年10月19日	中頭教育事務所	中頭地区市町村教育委員会連合会第2回理事会	前泊加代子委員長

平成24年10月22日	西原町役場 上下水道庁舎2階会議室	教育相談委員との情報交換会	前泊加代子委員長 大濱進委員 松岡幸子委員 波平常則教育長
平成24年11月8日 ～9日	ラッセホール(神戸)	平成24年度市町村教育委員会研究協議会(第2ブロック)	松岡幸子委員
平成24年12月20日	西原町役場 大会議室	社会教育委員との意見交換会	前泊加代子委員長 松岡幸子委員 大濱進委員 波平常則教育長
平成25年2月7日	沖縄県庁4階講堂	平成24年度市町村教育委員会教育委員・教育長研修会	前泊加代子委員長 松岡幸子委員
平成25年2月8日	中頭教育事務所	中頭地区市町村教育委員会連合会 講演会	前泊加代子委員長 大濱進委員 松岡幸子委員 波平常則教育長

上記のほか、定例会前の事前勉強会を12回、教育委員会事務事業の点検評価に関する会議を3回開催しました。

(4) 主催行事や学校行事等への参加状況

日付	場所	行事等の名称	参加委員
平成24年4月9日	西原高等学校	入学式	前泊加代子委員長
平成24年4月10日	坂田小学校	入学式	大濱進委員 波平常則教育長
平成24年4月10日	西原小学校	入学式	下地勝也委員
平成24年4月10日	西原東小学校	入学式	松岡幸子委員
平成24年4月10日	西原南小学校	入学式	前泊加代子委員長
平成24年4月10日	西原中学校	入学式	大濱進委員 波平常則教育長
平成24年4月10日	西原東中学校	入学式	前泊加代子委員長 松岡幸子委員 下地勝也委員
平成24年4月11日	坂田幼稚園	入園式	下地勝也委員
平成24年4月11日	西原幼稚園	入園式	松岡幸子委員

平成24年4月11日	西原東幼稚園	入園式	前泊加代子委員長
平成24年4月11日	西原南幼稚園	入園式	大濱進委員
平成24年6月4日	坂田小学校・幼稚園	学校訪問	全委員(5人)
平成24年6月5日	西原南小学校・幼稚園	学校訪問	全委員(5人)
平成24年6月22日	西原東中学校	学校訪問	前泊加代子委員長 波平常則教育長 松岡幸子委員 大濱進委員
平成24年6月26日	西原中学校	学校訪問	全委員(5人)
平成24年7月4日	西原小学校・幼稚園	学校訪問	全委員(5人)
平成24年8月3日	中城村吉の浦会館 1F 大ホール	西原町学校教育部会合同研修会	前泊加代子委員長 波平常則教育長 大濱進委員
平成24年9月11日	坂田小学校	西原町地域ぐるみ学力向上推進協議会 学校教育部 幼・小・中連携授業(西原中学校区)	前泊加代子委員長 波平常則教育長
平成24年9月23日	西原東小学校	運動会	下地勝也委員
平成24年9月23日	西原小学校	運動会	前泊加代子委員長 大濱進委員
平成24年10月17日	坂田小学校	第33回 西原町童話・お話・意見発表大会 (小学校 童話・お話大会)	前泊加代子委員長 大濱進委員 下地勝也委員 波平常則教育長
平成24年10月21日	西原東中学校	文化祭	波平常則教育長 下地勝也委員
平成24年10月21日	西原中学校	体育祭	前泊加代子委員 大濱進委員 松岡幸子委員
平成24年10月24日	西原小学校	西原町地域ぐるみ学力向上推進協議会 学校教育部 幼・小・中連携授業(西原東中学校区)	前泊加代子委員長 波平常則教育長
平成24年10月25日	西原中学校	第33回 西原町童話・お話・意見発表大会 (小学校 意見発表大会)	全委員(5人)
平成24年10月28日	坂田小学校	運動会	松岡幸子委員

平成24年10月28日	西原南小学校	運動会	波平常則教育長
平成24年11月10日	西原きらきらビーチ	第5回西原町小・中学生ビーチバレー大会	全委員(5人)
平成24年11月13日	西原町立図書館	第14回西原町中学生英語ストーリーコンテスト	全委員(5人)
平成24年11月15日	中城小学校 体育館	西原・中城・北中城ブロック小学生音楽発表会	波平常則教育長
平成24年12月23日	西原小学校	学芸会	波平常則教育長
平成25年1月13日	西原町民体育館	成人式	全委員(5人)
平成25年1月27日	坂田小学校	学芸会	下地勝也委員
平成25年1月27日	西原東小学校	学芸会	前泊加代子委員長
平成25年1月27日	西原南小学校	学芸会	松岡幸子委員 大濱進委員
平成25年2月2日	西原中学校	西原町教育の日	全委員(5人)
平成25年3月1日	西原町中央公民館	西原町中央公民館まつり	前泊加代子委員長 波平常則教育長
平成25年3月1日	西原高等学校	卒業式	前泊加代子委員長 波平常則教育長
平成25年3月10日	西原中学校	卒業式	前泊加代子委員長 松岡幸子委員
平成25年3月10日	西原東中学校	卒業式	下地勝也委員 大濱進委員 波平常則教育長
平成25年3月19日	坂田幼稚園	卒園式	前泊加代子委員長
平成25年3月19日	西原幼稚園	卒園式	下地勝也委員
平成25年3月19日	西原東幼稚園	卒園式	大濱進委員
平成25年3月19日	西原南幼稚園	卒園式	松岡幸子委員
平成25年3月21日	西原南小学校	卒業式	下地勝也委員
平成25年3月21日	坂田小学校	卒業式	前泊加代子委員長
平成25年3月21日	西原小学校	卒業式	松岡幸子委員
平成25年3月21日	西原東小学校	卒業式	波平常則教育長 大濱進委員

(5)その他の活動

日付	場所	行事等の名称	参加委員
平成24年4月6日	西原町役場 駐車場	平成24年度春の全国交通安全運動出発式	前泊加代子委員 波平常則教育長
平成24年4月17日	西原マリンパーク内 きらきらビーチ	西原きらきらビーチ安全祈願祭	前泊加代子委員長
平成24年4月24日	西原町民陸上競技場 会議室	西原町体育協会評議員会	波平常則教育長
平成24年4月25日	沖縄県体育協会 2階会議室	国民体育大会第32回九州ブロック大会沖縄県実行委員会第2回総会	波平常則教育長
平成24年4月26日	西原町中央公民館	平成24年度西原町子ども会育成連絡協議会の定期総会	波平常則教育長
平成24年4月27日	西原町役場2階大会議室	第1回学力向上推進協議役員会	波平常則教育長
平成24年4月28日	小那覇児童公園内	『梅の香り』うた遊び大会	前泊加代子委員長 波平常則教育長
平成24年5月15日	西原町役場2階大会議室	西原町青少年健全育成協議会総会	波平常則教育長
平成24年5月15日	西原町役場2階大会議室	西原町交通安全推進協議会総会	前泊加代子委員長
平成24年5月18日	西原町役場 2階大会議室	西原町地域ぐるみ学力向上推進協議会定期総会	全委員(5人)
平成24年5月19日	西原町中央公民館	西原町 PTA 連合会定期総会	全委員(5人)
平成24年5月26日	西原町社会福祉センター	西原町文化協会定期総会	前泊加代子委員長 波平常則教育長
平成24年6月6日 ～7日	東京都ホテルフロラシオン 青山 1階『ふじ』	第57回全国公立学校施設整備期成会定期総会	波平常則教育長
平成24年6月23日	西原運動公園	西原町平和事業「平和音楽祭2012」	全委員(5人)
平成24年7月29日	西原東小学校	東っ子まつり	前泊加代子委員長、波平常則教育長
平成24年8月1日	中城村吉の浦会館	西原町・中城村・北中城村共催 教育講演会	前泊加代子委員長、波平常則教育長 大濱進委員 松岡幸子委員
平成24年9月11日	庁舎等複合施設建設予定地	庁舎等複合施設建設工事起工式	前泊加代子委員長 波平常則教育長

平成24年9月20日	西原町内	西原町内文化財巡り	前泊加代子委員長 大濱進委員 松岡幸子委員 波平常則教育長
平成24年10月14日	沖縄県総合運動公園	中頭地区陸上競技大会	波平常則教育長
平成24年10月26日	西原の塔	平成24年度西原町戦没者追悼式	波平常則教育長 松岡幸子委員
平成24年10月31日	西原町役場2階大会議室	西原町学校支援地域本部第1回運営委員会	波平常則教育長
平成24年11月14日	西原町立図書館	「小学生の税に関する書道」、「中学生の税に関する標語」、「税に関する 高校生の作文」表彰式	前泊加代子委員長 波平常則教育長
平成24年12月4日	西原町商工会	西原町海外移住者子弟研究生受入事業修了式	前泊加代子委員長 波平常則教育長
平成24年12月16日	西原南小学校	創立20周年記念式典・祝賀会	全委員(5人)
平成25年1月27日	西原町中央公民館	沖縄県文化協会賞受賞者祝賀会及び新春の集い	前泊加代子委員長 波平常則教育長
平成25年2月16日	恩納村立恩納小中学校	第35回中頭地区学力向上実践推進大会	前泊加代子委員長 波平常則教育長 下地勝也委員

上記のほか、交通安全・防犯活動朝のあいさつ運動に11回参加し、波平教育長が西原町青少年健全育成協議会会長を、前泊加代子委員長が西原町人材育成会副会長、西原町交通安全推進協議会副会長を、松岡幸子委員が西原町平和事業推進委員を、下地勝也委員が西原町社会福祉協議会理事及び西原町福祉協議会第3次地域福祉活動計画策定専門委員を務め、関連行事に参加しました。

2. 教育委員会の活動に対する評価

沖縄県教育委員会連合会等が主催する研修会に参加し、教育委員としての資質向上に努め、定例会の前には勉強会を持ち、情報収集、意見交換を行い、教育行政に関する重要な決定を適正に行えるように努めています。

学校訪問をはじめ、学校行事や町の各種行事にも多数出席し、教職員、児童生徒、運営実行者、参加者を激励することができました。毎月はじめに行う交通安全・防犯活動朝のあいさつ運動に参加し、登校する児童生徒に声かけし、子ども達と直接ふれあい、顔の見える活動を心がけています。

また、町内教育関係者として西原町青少年健全育成協議会や西原町人材育成会、西原町交通安全推進協議会等の役員を担い、教育行政の推進に努めました。

有識者会議からは、各行事等への委員の参加状況や会議の改善などをみると、積極的に活動しているとの評価をいただきました。

3. 事務事業の点検評価について

事務事業の点検評価にあたっては、西原町まちづくり基本条例第4条第1項「平和で人間性豊かなまちづくり」に位置付けられる事業のうち、重要と思われる 28事業を抽出して行いました。

具体的な方法としては、各事業ごとに「事業概要・目標」「取り組み内容と成果」「課題」をまとめた評価シートを担当課にて作成し内部評価を行い、有識者会議を開き意見を聴取し、有識者からの意見を踏まえた上で、教育委員会が点検及び評価を行い、報告書としてまとめました。

なお、評価の基準については、事務事業を客観的に判断するため、次の4段階評価としました。

- A: 目標が達成できた。
- B: 目標が概ね達成できた。
- C: 目標が一部しか達成できなかった。
- D: 目標が達成できなかった。

以上によって評価された平成24年度の結果は次のとおりです。

平成24年度教育委員会事務事業評価シート

(教育委員会会議)

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取り組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
1	教育委員会会議 (教育総務課)	西原町の教育に関する方針の策定、規則の制定・改廃、予算等に関する意見の申出、その他重要な事項の決定を適正に行う。	<p>教育委員会が西原町教育行政の主体としての役割を果たすため、委員の資質向上、事務事業点検評価の充実、教育委員会会議の充実に努めた。</p> <p>市町村教育委員会研究協議会第2ブロック県外研修への参加をはじめ、多数の研修・事業に参加し、町長・社会教育委員・教育相談員との情報交換会、町内史跡巡り・定例会事前勉強会を開催した。</p> <p>事務事業点検評価において、議会への報告を前年度よりも早めて、決算特別委員会の行われる9月定例会にて行った。</p> <p>教育委員会会議において、日程・議案を西原町ホームページに掲載し会議の周知を図るとともに、方針の策定、規則の改廃等に関して修正案を出す等、適正な決定を行った。</p> <p>・教育委員会定例会の実施 12回/年 ・教育委員会臨時会の実施 3回/年</p>	<p>保護者や地域住民の意向を把握し、教育行政に反映する為、広く情報収集に努める必要がある。</p> <p>教育行政に関する相談体制の整備を図る必要がある。</p> <p>教育委員会の活動を地域住民に伝えられるよう広報活動の強化に努める必要がある。</p>	B	事務事業点検評価報告を9月決算議会に行ったことで、教育委員会への関心が高まりつつある。

(学校教育の充実)

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等									
2	人材育成会 補助金交付事業 (教育総務課)	<p>西原町人材育成会に補助金を交付する。 人材育成会の事業概要は次のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内に住所を有する者で優秀な学生生徒で経済的理由による就学困難なものに対し、学資を無利子で貸与する。 ・児童生徒が体育行事・文化活動等で県を代表し、県外に派遣される場合の経費に対し、助成を行う。 	<p>【町からの補助金交付額】 5,583,000 円</p> <p>上記補助金のうち町民、企業からの指定寄附金 3,250,600 円を充て、事業運営を行った。</p> <p>学資貸与事業では、海外大学就学者 1 名、県外大学就学者 6 名、県内大学就学者 18 名、県内高校就学者 2 名に対し、学資貸与を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学資貸与額(新規) 2,320,000 円 (7 人) ・学資貸与額(継続) 6,840,000 円 (20 人) <p>派遣助成事業では、児童生徒の活躍により、バレーボール・サッカー・なぎなた・テニス・バドミントン・合唱・マーチング等の県外大会派遣に対し、助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣助成額 9,109,000 円 (52 件 249 人) <p>滞納者について、滞納整理嘱託員と連携し、訪問、住所調査などを強化した結果、わずかながら改善した。</p> <p>【学資貸与金滞納状況】</p> <table border="1" data-bbox="728 1091 1305 1209"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 23 年度</th> <th>平成 24 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>滞納者数</td> <td>49 人</td> <td>39 人</td> </tr> <tr> <td>滞納額</td> <td>27,865,287 円</td> <td>24,387,000 円</td> </tr> </tbody> </table>		平成 23 年度	平成 24 年度	滞納者数	49 人	39 人	滞納額	27,865,287 円	24,387,000 円	<p>学資貸与事業費、児童生徒の県外派遣事業費が増加している一方、寄附金、学資返還金の歳入は、厳しい経済状況の中減額し、人材育成会の財政は非常に厳しい状態である。</p> <p>一括交付金の活用や、歳入の増額に努めるとともに、事業の見直しを行い、将来持続可能な財政運営の安定を図る必要がある。</p>	B	<p>学資返還金の滞納について、滞納整理嘱託員と連携し、訪問など強化した結果、滞納額の改善できた。</p>
	平成 23 年度	平成 24 年度													
滞納者数	49 人	39 人													
滞納額	27,865,287 円	24,387,000 円													

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等																											
3	小学校施設維持管理 (教育総務課)	各小学校の施設の適正な維持管理を行う。	<p>坂田小学校の普通教室(8教室)に空調機設置を行った。また、扇風機改修工事や遊具設置工事、施設設備の保守点検、修繕等を行い、学習環境の改善に努めた。</p> <table border="0"> <tr> <td>【施設の修繕】</td> <td>4校分</td> <td>8,938千円</td> </tr> <tr> <td>【保守点検等委託料】</td> <td>4校分</td> <td>17,618千円</td> </tr> <tr> <td>【使用料及び賃借料】</td> <td>4校分</td> <td>3,145千円</td> </tr> <tr> <td>【施設・設備工事】</td> <td></td> <td>4,231千円</td> </tr> <tr> <td>・遊具設置工事</td> <td>(西原小)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・旗ポール設置工事</td> <td>(西原小)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・扇風機改修工事</td> <td>(坂田小、西原東小)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>【施設・設備工事(繰越事業)】</td> <td></td> <td>9,535千円</td> </tr> <tr> <td>・空調機設置工事</td> <td>(坂田小)</td> <td></td> </tr> </table>	【施設の修繕】	4校分	8,938千円	【保守点検等委託料】	4校分	17,618千円	【使用料及び賃借料】	4校分	3,145千円	【施設・設備工事】		4,231千円	・遊具設置工事	(西原小)		・旗ポール設置工事	(西原小)		・扇風機改修工事	(坂田小、西原東小)		【施設・設備工事(繰越事業)】		9,535千円	・空調機設置工事	(坂田小)		<p>老朽化する学校施設の安全性を確保するには適正な維持管理が要求されるので、今後予算の拡大が望まれる事業である。</p> <p>坂田小学校の不足教室等の解消のため、危険改築工事時に不足している教室分の増築整備を行う必要がある。</p>	B	老朽化する校舎を抱えているため、修繕改修や調査業務に取り組み、児童生徒の安全安心な学習環境の整備に努めた。
【施設の修繕】	4校分	8,938千円																															
【保守点検等委託料】	4校分	17,618千円																															
【使用料及び賃借料】	4校分	3,145千円																															
【施設・設備工事】		4,231千円																															
・遊具設置工事	(西原小)																																
・旗ポール設置工事	(西原小)																																
・扇風機改修工事	(坂田小、西原東小)																																
【施設・設備工事(繰越事業)】		9,535千円																															
・空調機設置工事	(坂田小)																																
4	中学校施設維持管理 (教育総務課)	各中学校の施設の適正な維持管理を行う。	<p>バスケットボールコートライン変更に伴い、体育館アリーナ床等改修工事にてコートライン引きなおしを行った。</p> <p>旧耐震基準の建物である西原中学校校舎18号棟に耐震診断調査を実施した結果、「耐震性あり」の評価となった。</p> <table border="0"> <tr> <td>【施設の修繕】</td> <td>2校分</td> <td>4,945千円</td> </tr> <tr> <td>【保守点検等委託料】</td> <td>2校分</td> <td>11,073千円</td> </tr> <tr> <td>【施設・設備工事】</td> <td></td> <td>5,067千円</td> </tr> <tr> <td>・体育館アリーナ床等改修工事</td> <td>(西原中、西原東中)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・側溝蓋取替工事</td> <td>(西原東中)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>【施設・設備工事(繰越事業)】</td> <td></td> <td>3,360千円</td> </tr> <tr> <td>・進入路改修工事</td> <td>(西原東中)</td> <td></td> </tr> </table>	【施設の修繕】	2校分	4,945千円	【保守点検等委託料】	2校分	11,073千円	【施設・設備工事】		5,067千円	・体育館アリーナ床等改修工事	(西原中、西原東中)		・側溝蓋取替工事	(西原東中)		【施設・設備工事(繰越事業)】		3,360千円	・進入路改修工事	(西原東中)		<p>老朽化する学校施設の安全性を確保するには適正な維持管理が要求されるので、今後予算の拡大が望まれる事業である。</p> <p>西原中学校は旧耐震基準の建物が18号棟以外に2棟あり、計画的に耐震診断調査を行う必要がある。</p>	B	老朽化する校舎を抱えているため、修繕改修や調査業務に取り組み、児童生徒の安全安心な学習環境の整備に努めた。						
【施設の修繕】	2校分	4,945千円																															
【保守点検等委託料】	2校分	11,073千円																															
【施設・設備工事】		5,067千円																															
・体育館アリーナ床等改修工事	(西原中、西原東中)																																
・側溝蓋取替工事	(西原東中)																																
【施設・設備工事(繰越事業)】		3,360千円																															
・進入路改修工事	(西原東中)																																

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
5	幼稚園施設維持管理 (教育総務課)	各幼稚園の施設の適正な維持管理を行う。	西原幼稚園屋根断熱塗装工事を行い、暑さ対策の取組みを行った。 【施設修繕費】 4園分 385千円 【保守点検等委託】 4園分 186千円 【施設・設備工事】 630千円 ・屋根断熱塗装工事 (西原幼)	学校施設の安全性を確保するには適正な維持管理が要求されるので、今後予算の拡大が望まれる事業である。 西原南幼稚園は保育室及び預かり保育室が不足しているため、新增築による解消が必要である。 西原東幼稚園の旧耐震基準の建物の耐震診断調査の実施が必要である。	B	老朽化する園舎を抱えているため、修繕改修に取り組み、園児の安全安心な学習環境の整備に努めた。
6	学校ICT環境整備事業 (教育総務課)	情報化社会に対応できる人材を育成する教育環境を整えるため、各小中学校へコンピュータ等のICT機器の導入やネットワーク環境の整備・維持管理を行う。 また、校務支援システムの導入等により教員の校務負担を軽減し、教員が児童生徒と向き合う時間を確保することを目指す。	学校ICT環境を運用するために必要となる経費の支払い等を行った。主な内容は次のとおり 【消耗品費】 38千円 【修繕費】 67千円 【回線接続料】 385千円 ・インターネット回線接続料 【委託料】 1,090千円 ・学校図書システム委託料 ・プリンタ保守委託料 【使用料及び賃借料】 6,106千円 ・大判プリンタ賃借料 ・パソコン賃借料 ・学校図書システム賃借料 その他、学校が要求するシステム・ソフトウェア等の導入対応を行った。 高度専門化が進む本業務については、23年度より電算係職員に併任辞令を発令して相互協力体制を強化し、保守業務の効率化等を図っている。	文部科学省が見据える目標を達成するには今後もさらなるICT機器やソフトウェア環境の整備・充実が必要となる。ここ最近では、学校現場からの電子黒板・デジタル教科書等の要求も高まってきている。本町の財政事情等を勘案し、慎重かつ計画的に整備を進めていく必要がある。 また、現行システムの操作説明・活用支援、学校ICT環境の維持管理を安定的に行う体制づくりについても継続して取り組む必要がある。	B	ICT機器やソフトウェア環境等の整備・保守に取り組むことができた。 今後も、費用対効果を踏まえながら、本町の規模に応じたICT環境づくりに取り組む必要がある。

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
7	学校改築工事 (教育総務課)	施設の老朽化による危険建物改修や教室不足の解消を図るために校舎等の改築工事を行う。また、改築時に併せて防音工事導入の検討を行う。	坂田小学校校舎13号棟に耐力度調査を実施した結果、危険改築の対象建物となる評価となった。 また、13号棟とつながっている16号棟、14号棟も不適格建物として改築ができる認定を受けた。	危険改築とあわせて新增築を行うことで坂田小学校の不足教室の解消を図り、同時に併行防音工事導入の調整を行う必要がある。 西原東小学校の施設は老朽化が進んでいるため、計画的に危険建物改修を行う必要がある。	B	坂田小学校耐力度調査を実施した結果、13号棟が「危険建物」に該当した。今後は国、県へ改築計画の協議を進めていく。
8	学習指導要領の趣旨を生かした教育課程の充実 (学校教育課)	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な学校訪問の実施により、学校課題の対策への支援指導助言に努める。 校長会、教頭会、学推主任及び研究主任会の開催により、学校運営・経営への指導助言と支援に努める。 必要に応じ各学校の授業研究会へ参加し、教員の授業力向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学校への学校訪問を5月～6月に実施し、学校の成果及び課題の共通理解・指導助言を行うことができた。 各種研修会、協議会を通して、町教育委員会の施策の徹底と取組の周知が図られ、実践5項目を推進することができた。 特に学力向上推進においては、教育講演会、授業研究会での指導助言を実施することにより、教師の授業力向上につながった。 前年度の課題を踏まえ、教育委員会教育施策5項目については年度末に各学校への説明を行い、内容の見直しを図り、「西原の教育指針」に盛り込むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学校訪問は実施できたが、適宜訪問する体制が整っていない。 学校支援・公務の充実から指導主事2人体制は極めて必要である。特に生徒指導・特別支援教育・学力向上推進の面において、指導主事の小学校、中学校の専門性は必要である。 	B	<p>学校訪問、校長会を通して学習指導要領の完全実施を各学校で実施できた。</p> <p>今後は、学習指導要領で取組みが重点化されている思考・判断・表現力の育成及び言語活動の充実を推進していく。</p>

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等																								
9	道徳の時間の指導の充実 (学校教育課)	<ul style="list-style-type: none"> 平成 24 年度教育施策 5 項目に「心の教育の推進」を取上げ、各学校において道徳教育の充実を図る。 各学校道徳の公開授業を実施し、教育活動全体において心の教育を推進する。 「豊かな心の育成」推進構想を策定し、道徳教育の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「豊かな心の育成」推進構想を策定し、学校教育活動全体を通して心の教育の充実に取り組んでいる。 各学校で道徳の時間を要とし、学校教育活動全体で、広く道徳教育の授業力の向上と理解を図っている。 「心のノート」を活用した道徳授業を展開している。 各学校の実態に即した年間計画 35 時間の内容を実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の時間を中心に心の教育を推進しているが、実践力においてはなお課題である。 道徳教育は、家庭教育との関連性が高く家庭教育力の向上が望まれるため、各家庭との連携強化を図る。 道徳教育推進担当者を中心に「道徳」の授業の工夫改善が求められる。 各教科との関連を踏まえた計画的な指導の充実が必要である。 	B	<p>豊かな心の育成推進構想に沿って、学校での道徳活動の充実が図られつつある。</p> <p>今後もさらなる教材の研究が必要である。</p>																								
10	学校・家庭・地域・諸機関との相互連携の強化 (学校教育課)	<p>学校、家庭、地域、関係機関との相互連携により、不登校児童生徒、問題行動児童生徒への指導・支援の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談室、スクールカウンセラー等の活用により、不登校生徒数は前年度と同数に留めることができた。 中学校区生徒指導連絡協議会の開催により、地域連携が図られ、問題行動児童生徒の減少につながった。 管内警察署との連絡協議会を開催することにより、少年非行の防止につながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学生は減少したが、小学校において不登校児童数が前年度より6名増加している。 問題行動等に係る事件事故等がほとんど学校外で起きていることから、今後も地域による見守り、関係機関・団体等との連携が望まれる。 家庭でのきまりをはじめ、基本的な生活習慣の確立が望まれる。 家庭における一人一役の奨励、地域の教育力をどう学校に取り込むかが重要である。 	B	<p>中学校区の生徒指導連絡会など、地域の人達と意見交換する場を活用した結果、地域の教育力が高まりつつある。</p>																								
11	要保護及び準要保護児童就学援助事業 (学校教育課)	<ul style="list-style-type: none"> 経済的負担を軽減することにより、児童生徒が安心して学校生活を送り、平等に就学できるよう保障する。 学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学児童生徒学用品費、修学旅行費、学校給食費、医療費等を援助する。 	<p>厳しい経済状況の影響を受け、就学援助対象者は年々増え続けている状況である。</p> <p>平成 23 年度から就学援助制度について「認定基準参考例」として家族構成と所得の目安を町広報紙に掲載した。また、新入学児童生徒全員への通知の配布等で就学援助制度の周知を図っている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">【要保護・準要保護就学援助対象者数】(単位:人、千円)</th> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">平成23年度</th> <th colspan="2">平成24年度</th> </tr> <tr> <th>対象者</th> <th>補助金額</th> <th>対象者</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>309</td> <td>17,079</td> <td>373</td> <td>21,207</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>187</td> <td>17,013</td> <td>219</td> <td>20,680</td> </tr> </tbody> </table>	【要保護・準要保護就学援助対象者数】(単位:人、千円)						平成23年度		平成24年度		対象者	補助金額	対象者	補助金額	小学校	309	17,079	373	21,207	中学校	187	17,013	219	20,680	<p>就学援助制度については、これまで広報紙への掲載で周知を図ってきたが、加えて町のホームページを活用する等、就学援助制度についての周知徹底をし、受給対象者の把握漏れがないように努める必要がある。</p>	B	<p>認定基準を設け、町広報紙及びホームページに掲載したことにより、一定の周知が図られた。今後とも、制度の趣旨を踏まえ、周知徹底を図る。</p>
【要保護・準要保護就学援助対象者数】(単位:人、千円)																														
	平成23年度		平成24年度																											
	対象者	補助金額	対象者	補助金額																										
小学校	309	17,079	373	21,207																										
中学校	187	17,013	219	20,680																										

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
12	特別支援教育 就学指導体制 の充実 (学校教育課)	LD、ADHD、高機能自閉症等、障害のある児童生徒に対して、その一人一人の教育的ニーズを把握し、当該児童生徒の持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するために、適切な教育や指導を通じて必要な支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・校内委員会の活用により、校内体制が充実してきた。 ・特別支援教育コーディネーターの位置づけにより、関係機関や保護者との連絡調整が円滑に進められた。 ・支援員を小学校に12人、中学校に2人配置することによって、一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な教育や指導を支援することができた。 ・専門家(琉球大学教授)による巡回指導を実施した。 	今後、特別支援教育の資質向上を図るためには、専任のアドバイザー、臨床心理士等を教育委員会に配置し、教員等への指導助言を行い、保護者が相談できる体制をつくる必要がある。	B	特別支援教育の支援体制は概ね構築されてきている。今後は、支援員の資質の向上、配置の改善に努め特別支援教育の充実を図る。
13	幼稚園2年保育 の充実拡大 (学校教育課)	幼児の健やかな成長のために、就学前の教育環境を与えて心身の発達を助長する。	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前教育として4園で2年保育を実施し、保護者から喜ばれている。また、単年度保育に比べ、園児の成長発達が著しく、教育効果は大きいものがある。 ・保育所の待機児童解消に役立っている。 ・各園4歳児は28人定員となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4歳児は各幼稚園1クラス設置なので、園によっては毎年定員枠を越える申込み希望者があり、抽選で入園児を決定している状況で、希望者全員を受入れてきていない現状である。課題解消のために定数を増やすと保育効果や安全面での不安があり、教室増や人員増等大幅な予算措置が必要である。 	B	2年保育により5歳児が4歳児を気遣ったり、教育効果は非常に高く、町民の需要も大きい。
14	学校の危機管理 の徹底 (学校教育課)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害・事件・事故から児童生徒及び教職員等の命や身体を守り、安全を確保する。 ・危機管理マニュアルの効果的な活用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度においては、全小中学校において「津波・地震」を想定した危機管理マニュアルに基づいて、訓練を年次的・計画的に行うことができた。 ・平成24年度に制定された町の防災計画と学校の危機管理マニュアルとの整合性が図られた。 	学校の危機管理マニュアルに基づいた訓練の確実な実施と評価を行い、常に改善を図る必要がある。	B	学校の危機管理マニュアルに沿って学校内で訓練が実施された。また、町の防災計画との整合性を図ることができた。

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等																					
15	公約・評価・公表による活力ある学校づくり (学校教育課)	<ul style="list-style-type: none"> 学校評議員・学校関係者評価委員を委嘱し学校運営の資質の向上を図る。 開かれた学校づくりを一層推進していくため、保護者や地域住民等の意向を把握・反映し、その協力を得るとともに、学校運営の状況等を保護者や地域住民等に周知するなど学校としての説明責任を果たしていく。 校長は、学校運営の状況について点検及び評価を行い、その結果を公表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評議員を置くことによって、保護者や地域住民の意見を広く聴くことができ、地域の協力が得られやすくなった。 学校関係者評価委員会の設置により、各学校の自己評価の結果が外部から評価され、自己評価の客観性・透明性が高まり、学校運営の改善や地域、保護者に信頼される学校づくりにつながった。 <p>【学校評議員、学校関係者評価委員委嘱人数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>学校評議員</th> <th>学校関係者評価委員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>坂田小学校</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>西原小学校</td> <td>3人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>西原東小学校</td> <td>4人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>西原南小学校</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>西原中学校</td> <td>5人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>西原東中学校</td> <td>3人</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table>		学校評議員	学校関係者評価委員	坂田小学校	5人	5人	西原小学校	3人	4人	西原東小学校	4人	4人	西原南小学校	5人	5人	西原中学校	5人	4人	西原東中学校	3人	4人	各学校で、学校評議員と学校関係者評価委員を兼任している学校が多く、任期終了後の人材確保や人選が難しい。	B	学校評価の実施により、地域に開かれた学校づくりにつながった。
	学校評議員	学校関係者評価委員																									
坂田小学校	5人	5人																									
西原小学校	3人	4人																									
西原東小学校	4人	4人																									
西原南小学校	5人	5人																									
西原中学校	5人	4人																									
西原東中学校	3人	4人																									
16	指導方法の改善・充実 (学校教育課)	<ul style="list-style-type: none"> 指導方法改善加配教諭を活用し、指導方法の改善を図る。 個に応じた学習指導により、「分かる授業」「参加する授業」の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導方法改善加配教諭を活用し、少人数指導、補習指導、個に応じた指導を行い、基礎学力の定着を図っている。(現在、各学校に1名ずつ配置されている。) 補充的な学習、発展的な学習を取り入れたことにより、個に応じた学習指導ができた。 課題点の一つであった指導方法改善加配教諭を効果的に活用するための体制を、各学校とも工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 少人数指導を実施し、個に応じた指導が展開できるようになったが、基礎学力が不十分な層の学力向上が課題である。 計画的な補習指導の時間の確保が必要である。 	B	指導方法改善加配教諭の活用を通して、個に応じた学習指導が図られた。																					
17	学校支援地域本部事業 (生涯学習課)	地域住民が持っている力や社会教育で学んだ成果を活用し、学校教育活動を支援することで、地域の絆を強め、地域の教育力の活性化・学校教育の充実を図る。	坂田小学校・西原南小学校・西原中学校・西原東中学校の4校で、地域コーディネーターを中心に、学校支援ボランティアが学習支援や環境整備等の現場に入った。 学校教員の負担軽減につながった。 (事業数 1,129、ボランティア数 2,254人)	国・県から補助金を得ているが、使用範囲が限定されるため、学校教員の要望に対応できない場合があったので、町予算を確保している。国・県の予算は縮小しているが学校のニーズは拡大している。	B	学習支援を始めいろいろな分野において地域のボランティアが学校の支援を概ね行うことができた。																					

(学校給食共同調理場の充実・強化)

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
18	学校給食共同調理場事務運営事業 (教育総務課)	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全な給食の献立、調理及び運搬を行うため職員指導、自己啓発に努め、衛生意識の向上を図る。 ・給食費負担金の徴収率のアップを図る。 ・施設の整備を図る。 ・地産地消の推進。 	<p>平成 24 年度より滞納整理嘱託員を採用し、学校給食費の滞納額の圧縮を図るため、電話催告、戸別訪問等で納付を促し、生活困窮世帯については生活保護申請や準要保護申請を推奨している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口座振替の加入率が平成 23 年 4 月分では 57.59%だったが、平成 24 年 4 月分では 57.89%へ向上した。 ・平成 24 年度の給食費の徴収率は 97.07%で前年度比 0.18 ポイント向上した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食費の滞納者には、町債権管理条例に基づき、徴収強化に努める必要がある。 ・施設の老朽化対策と設備の整備、備品の充実が必要である。 ・地産地消については現在、JAを通して発注しているが、食数に対して賄える量がまだまだ少ない状況なので今後、町地産地消担当課と連携しながら地場産物が増産できるような体制づくりが必要である。 	B	滞納整理嘱託員を採用した結果、給食費の徴収率のアップにつながった。

(生涯学習課の振興)

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
19	ブックスタート事業 (生涯学習課)	赤ちゃんと保護者が絵本を介して、ゆっくり心ふれあうひとときをもつきっかけをつくり、赤ちゃんの健やかな成長を応援する。	2ヶ月に1回の乳児一般健診時に、町立図書館・福祉課・読みあいネットワーク喜楽星7と連携して、絵本の読み聞かせとプレゼントを行った。対象者 406 名のうち、290 名に実施した。2年目にあたり、参加人数も年々増えてきている。親子のふれあいの時間を作れた。	健診を終えると足早に帰路につく親子もあり、達成率も約 70%である。健診会場から事業会場までの誘導・雰囲気づくり、また、検診会場以外に町立図書館での絵本のプレゼントを実施しているので、広報等の工夫が必要である。	B	絵本を受け取った親子は約 71.4%で、目標を概ね達成できた。

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
20	青少年健全育成事業 (生涯学習課)	町内にある団体・個人で、町青少年健全育成協議会を構成し、青少年の健全な育成を図る。	「少年を守る日」毎月第3金曜日と夏休み期間の毎週金曜日に夜間巡回指導を行い、実施回数18回、延べ511名が参加した。 また、7月に一斉行動を行い、11月に社会環境実態調査等を実施した。 少年補導員等の協力で、青少年の非行防止に寄与した。 2月の「西原町教育の日」には、個人46名及び15団体に対し、表彰を行った。	構成団体の中でも、事業協力に対して積極的な団体と消極的な団体があるため、意識高揚を図り、参加者の増加に努める必要がある。	B	夜間パトロールをはじめ、各種事業・交流大会を計画的に概ね実施することができた。
21	中央公民館運営事業 (生涯学習課)	各種講座や学級を開設し、町民の生涯学習に寄与する。	一般町民や親子を対象とした講座等が97回開催され、延べ1,654人が参加した。 【公民館講座】 ・健康ストレッチ体操講座 ・琉球ブクブク茶講座 ・町内戦跡講座 ・初歩三線講座 ・文教のまち学園 ・親子絵画講座 ・親子うちなー料理講座 ・男の料理講座 ・西原町の歴史講座 ・ゆんたく英会話講座 ・オリジナル衣服リメイク講座 ・ストリートダンス講座 ・やまびこ学級 ・くらしに役立つ法律講座 ・KID'S せいご講座 【その他公民館事業】 ・自治公民館移動講座 (以上16講座)	公民館講座は生涯学習のきっかけを作る場として考えており、入門講座として位置付けている。現在、公民館のサークルは39団体が活動しているが年々会員数が減っているため、今後どのように増やすかが課題である。 そのためには以下のことを取り組む必要がある。 ①公民館講座の充実強化を図る。 ②広報活動を通して、利用者の拡大を図る。(各種団体への周知徹底) ③会員数の著しく少ないサークルの講座を再度開催する。 ④町民のニーズにあった講座を開催する。(過去の講座より参加者が多かったものを開催する)	B	エコをテーマとしたリメイク講座や若者をターゲットにしたストリートダンス講座などニーズにあった事業ができ、青少年の来館者が増えた。

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等																											
22	図書館事務運営 事業 (生涯学習課)	図書館を良好な状態で利用できるよう維持管理を行う。 図書貸出し、講座、講演等の充実を図り、多くの町民が利用できるようにする。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>259日</td> <td>269日</td> </tr> <tr> <td>入館者</td> <td>166,899人</td> <td>156,480人</td> </tr> <tr> <td>1日あたり入館者数</td> <td>645人</td> <td>582人</td> </tr> <tr> <td>登録者数</td> <td>14,363人</td> <td>15,336人</td> </tr> <tr> <td>登録率</td> <td>41.5%</td> <td>43.8%</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>243,565冊</td> <td>225,719冊</td> </tr> <tr> <td>年1人あたり貸出冊数</td> <td>7.1冊</td> <td>6.5冊</td> </tr> <tr> <td>レファレンス業務</td> <td>2,324件</td> <td>3,656件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・講演会 2回開催 35人参加 ・公演会 1回開催 37人参加 ・町民文化講座 4回開催 85人参加 ・おはなし会 18回開催 150人参加 ・上映会 16回開催 673人参加 ・紙芝居 13回開催 173人参加 ・英語読み聞かせ 18回開催 254人参加</p> <p>【後援事業】 ・ブックフェスタ(11月3日) 1回開催 ・あっとーめーのささやき 2回開催</p>		平成23年度	平成24年度		259日	269日	入館者	166,899人	156,480人	1日あたり入館者数	645人	582人	登録者数	14,363人	15,336人	登録率	41.5%	43.8%	貸出冊数	243,565冊	225,719冊	年1人あたり貸出冊数	7.1冊	6.5冊	レファレンス業務	2,324件	3,656件	<p>・登録者数が増えているにもかかわらず、1人当たりの年間貸出冊数が減少傾向にある。資料展などの企画をもっと充実させる必要がある。</p> <p>・レファレンス業務が増加した。レファレンス業務を充実させるために研修等の時間を確保する必要がある。</p> <p>・地域史に関するレファレンスに苦慮し、時間をとられているので、専門員の配置が必要である。</p>	B	<p>入館者数、1人あたりの貸出冊数は減少したものの、登録者数は増加した。増加した分、来年度の貸出冊数の伸びに期待が持てる。</p> <p>職員数が少ない中で、1300件近く増えたレファレンス業務に概ね対応できた。</p>
	平成23年度	平成24年度																															
	259日	269日																															
入館者	166,899人	156,480人																															
1日あたり入館者数	645人	582人																															
登録者数	14,363人	15,336人																															
登録率	41.5%	43.8%																															
貸出冊数	243,565冊	225,719冊																															
年1人あたり貸出冊数	7.1冊	6.5冊																															
レファレンス業務	2,324件	3,656件																															

(スポーツ・レクリエーション活動の推進)

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
23	保健体育事務 運営事業 (生涯学習課)	<p>・社会体育に関する事業について、国・県・各種団体等と連携し、全般的な事務事業を行う。</p> <p>・体育協会等のスポーツ団体に補助金を交付して、成人、少年等の各種スポーツの競技力向上と底辺拡大を支援する。</p>	<p>【財政援助団体への補助金交付状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町スポーツ少年団 360,000 円 (活動:野球、空手、バレーボール大会の開催・参加) ・町体育協会 5,500,000 円 (活動:町民陸上競技大会・各種球技大会開催等) ・町バレーボール協会 500,000 円 (活動:バレーボール祭り、教室等の開催) ・町ゲートボール連合会 500,000 円 (活動:毎月定例大会の開催) <p>各種のスポーツ団体の開催する区対抗の大会、クラブチーム大会等により地域の活性化、町民の健康増進に寄与している。特にバレーボール、なぎなた、空手の競技における県内外での活躍は、大きな成果である。</p>	<p>町民参加型のスポーツイベントの開催や若年層のスポーツ離れの傾向もうかがえることから、各種スポーツの指導者育成等の検討も必要である。</p>	B	<p>スポーツ団体への補助金を交付し、各種団体等への支援を概ね行うことができた。</p>

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等																																																																																				
24	社会体育施設 運営事業 (生涯学習課)	各スポーツ施設の充実と維持管理を行い、スポーツ用具等の充実を図ることにより、社会体育関係事業の推進に寄与する。	<p>施設の利用人数は着実に伸びており、町民の健康増進や各種スポーツの底辺拡大、競技力の向上等に寄与している</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">【貸出し使用状況及び収入】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">町民体育館</td> </tr> <tr> <td>アリーナ</td> <td>1,414件</td> <td>5,616人</td> <td>4,738,000円</td> </tr> <tr> <td>武道場</td> <td>459件</td> <td>8,888人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>会議室</td> <td>53件</td> <td>667人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トレーニングルーム</td> <td>12,497件</td> <td>12,497人</td> <td>1,120,100円</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>14,423件</td> <td>27,668人</td> <td>5,858,100円</td> </tr> <tr> <td colspan="4">陸上競技場</td> </tr> <tr> <td>トラック&フィールド</td> <td>95件</td> <td>7,665人</td> <td>840,480円</td> </tr> <tr> <td>会議室</td> <td>192件</td> <td>1,499人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>287件</td> <td>9,164人</td> <td>840,480円</td> </tr> <tr> <td>パークゴルフ場</td> <td>22,115件</td> <td>22,115人</td> <td>4,959,900円</td> </tr> <tr> <td>交流広場</td> <td>206件</td> <td>9,371人</td> <td>195,500円</td> </tr> <tr> <td>テニスコート場</td> <td>3,706件</td> <td>27,467人</td> <td>2,457,600円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>40,737件</td> <td>95,785人</td> <td>14,311,580円</td> </tr> <tr> <td colspan="4">東崎公園</td> </tr> <tr> <td>ソフトボール場</td> <td>440件</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>サッカー場</td> <td>291件</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>バスケットコート</td> <td>1,217件</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>会議室</td> <td>293件</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,241件</td> <td>—</td> <td>1,918,400円</td> </tr> </tbody> </table>	【貸出し使用状況及び収入】				町民体育館				アリーナ	1,414件	5,616人	4,738,000円	武道場	459件	8,888人		会議室	53件	667人		トレーニングルーム	12,497件	12,497人	1,120,100円	小計	14,423件	27,668人	5,858,100円	陸上競技場				トラック&フィールド	95件	7,665人	840,480円	会議室	192件	1,499人		小計	287件	9,164人	840,480円	パークゴルフ場	22,115件	22,115人	4,959,900円	交流広場	206件	9,371人	195,500円	テニスコート場	3,706件	27,467人	2,457,600円	合計	40,737件	95,785人	14,311,580円	東崎公園				ソフトボール場	440件	—	—	サッカー場	291件	—	—	バスケットコート	1,217件	—	—	会議室	293件	—	—	合計	2,241件	—	1,918,400円	<p>・運営経費の削減等による町の負担軽減の観点から、事業を民間団体に委任する指定管理者制度の実施に向けて、取り組んでいく必要がある。</p>	B	パークゴルフ場にて利用者の減少がみられるが、全体では九州社会人サッカーリーグ、九州大学バレーボール大会等の施設利用により利用者が増加した。
【貸出し使用状況及び収入】																																																																																										
町民体育館																																																																																										
アリーナ	1,414件	5,616人	4,738,000円																																																																																							
武道場	459件	8,888人																																																																																								
会議室	53件	667人																																																																																								
トレーニングルーム	12,497件	12,497人	1,120,100円																																																																																							
小計	14,423件	27,668人	5,858,100円																																																																																							
陸上競技場																																																																																										
トラック&フィールド	95件	7,665人	840,480円																																																																																							
会議室	192件	1,499人																																																																																								
小計	287件	9,164人	840,480円																																																																																							
パークゴルフ場	22,115件	22,115人	4,959,900円																																																																																							
交流広場	206件	9,371人	195,500円																																																																																							
テニスコート場	3,706件	27,467人	2,457,600円																																																																																							
合計	40,737件	95,785人	14,311,580円																																																																																							
東崎公園																																																																																										
ソフトボール場	440件	—	—																																																																																							
サッカー場	291件	—	—																																																																																							
バスケットコート	1,217件	—	—																																																																																							
会議室	293件	—	—																																																																																							
合計	2,241件	—	1,918,400円																																																																																							

(青少年健全育成の推進)

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
25	成人式事業 (生涯学習課)	大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますことを目的に、新成人を招いて、式典を開催する。	「成人の日」前日の日曜日の午後に開催している。新成人対象者は 568 名で前年より減少している。会場内は肃々とし、厳正な雰囲気です式典を進めることができた。新成人、保護者、来賓等の出席者は年々増えている。	新成人・後輩・保護者が積極的に関与できるような式典づくりを検討する必要がある。	B	式典会場内では、大きな混乱もなく、式典を概ね計画的に進めることができた。

(文化事業の推進)

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
26	内間御殿整備 事業 (生涯学習課)	本町の代表的な文化財である内間御殿を後世に残していくために復元・整備をしていく。	<p>①西原町国指定史跡内間御殿保存管理計画策定委員会を3回開催し、国指定文化財となった内間御殿を確実に次世代へ伝えるためにも、適切な保存管理の基本方針等を定めるとともに、体制整備を含め今後整備活用するための基本的な計画を策定する。今年度は計画項目の大半を検討することができた。</p> <p>②内間御殿保存管理に係る調査として</p> <p>ア)東江御殿石牆のレーザー測量 イ)フクギの樹齢推定調査 ウ)史跡内間御殿指定地内の植生位置測量 エ)樹木等種類の確認調査</p> <p>を行い、今後の整備上必要なデータを得ることができた。</p> <p>③H23年6月に開催された【内間御殿国指定記念シンポジウム～国指定史跡内間御殿の意義と新生西原の町づくり～】の報告書を刊行した。本書をとおして多くの人々に内間御殿の文化財としての価値認識が広まり、今後の保存管理・整備計画がまちづくりに活用されることが期待できる。</p>	平成24年6月1日に専門職員を採用したことで、ハード・ソフト両面から整備事業に取りかかることができたが、今後の人的増員は検討を要する。	A	平成24年度は、事業計画どおり執行できた。さらに、平成25年度補助金(国)も、引き続き申請どおり確保することができた。

(国際交流事業の推進)

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
27	国際理解教育・ 外国語教育の 推進 (学校教育課)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校外国語活動及び中学校外国語の授業において、英語活動指導員やネイティブスピーカー(ALT)による指導の機会を設けることにより、外国語をより身近なものとし、児童生徒の語学習得意欲を増進させる。 ・アメリカハワイ州に中学 2 年生を短期間派遣し、国際的視野を広め、国際性を身につけ、国際社会に対応しうる青少年の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各小学校に英語活動指導員を配置し、外国語活動の充実に役立てた。 ・中学校に英語指導助手(ALT)を配置したことにより、効果的に英語教育ができた。さらに授業外でのALTとのふれあいを持つことにより、国際理解と国際感覚の高揚へとつながった。 ・中学生の海外短期留学事業参加者が、「英語力をもっと向上させたい。」「国際性を身につけ、外国で活躍したい。」と意欲的になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度からは、英語活動指導員の配置による小学校 5・6 年生の英語力向上を検証する必要がある。 ・ホームステイ先の家族と日常会話のコミュニケーションをするため、短期留学前に英語の研修等を行う必要がある。 	B	海外短期留学については、生徒が英語学習意欲の向上、ハワイの文化、歴史、地理などに対して興味・関心を持つ良い機会となっており、国際的感覚を養うことにもつながっている。
28	海外移住者子弟 研修生受入事業 (生涯学習課)	技術等の習得及び町民との交流を通して社会の発展に寄与する人材を育成すると共に、国際交流思想の高揚及びこれからの移住国と本町との友好親善に資する。	<p>ペルー共和国、ブラジル連邦共和国、アルゼンチン共和国から西原町海外移住者子弟の研修生を受け入れ、技術等の習得の研修及び町民との交流を行った。 (期間 5 ヶ月間)</p> <p>【主な研修及び交流事業】 (研修先) イシ・ナハ・オペレーションズ、企画財政課、スタック、FM21、ラジオ沖繩、嘉手納町、マルチメディアセンター、石川酒造場、玉城豆腐店等 (主な交流事業) 町内保育園・幼稚園・小中学校</p> <p>【成果】 本町と移住国との交流は、町民の国際感覚を育み、相互間の絆を一層深めることにもつながっている。</p>	研修生が 3 世・4 世の世代になってきているため、本町や近隣市町村に受け入れてくれる親戚がいない場合の宿泊先等を検討する必要がある。	A	海外移住者子弟との交流により、町民の国際感覚を育み、相互の絆を深めることができた。専門研修先の調整が遅れたが、計画通りに実施することができた。

4. 有識者の知見の活用について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条第2項の規定では、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとなっていますが、西原町教育委員会では、教育に関して学識経験のある方3人で組織する「西原町教育委員会の点検及び評価に関する有識者会議」を設置し、主要事業の管理及び執行等について意見をいただき、各事業の点検及び評価に反映させました。

有識者会議の委員及び主な意見は次のとおりです。

(1) 点検・評価に関する有識者会議委員名簿

氏名	任期	備考
田港 朝勝	H25.7.10～H27.3.31	元西原南小学校校長
大城 洋子	H25.7.10～H27.3.31	元西原町教育委員
大城 剛	H25.7.10～H27.3.31	元西原町PTA連合会会長

(2) 有識者会議での主な意見

2回の各課長によるヒアリング、1回の有識者会議を開催し、事務事業点検評価についてご意見をいただきました。

主な意見としては、

- ・「学校の危機管理の徹底」については、危機管理マニュアルに基づいて実施されていると思うが、地震・津波等の災害避難の際に教諭の履物がスリッパ等では迅速な避難ができないため、日頃から避難誘導がしやすい履物を着用するように注意していく必要がある。
- ・「学校運営の点検及び評価の公表」については、保護者だけではなく、町民全体に公表できるように各学校ホームページ等の活用方法を検討する必要がある。
- ・「学校給食共同調理場事務運営事業」については、学校給食費の滞納者には、町債権管理条例に基づいてしっかり徴収強化に取り組む必要がある。
- ・「成人式事業」については、式典は青年会の司会起用、スムーズな進行で開催されて良くなっているが、式典後の祝賀会開催等の検討していく必要がある。

- ・「海外移住者子弟研修生受入事業」については、町側から南米への派遣事業も検討する必要がある。
また、平成23年度事務事業の点検及び評価において指摘された下記の内容も継続して検討する必要がある。
- ・昨年度も意見したが、「幼稚園2年保育の充実拡大」については、幼児期の成長は大きく待ったなしである。「幼稚園施設維持管理」とも併せて取り組み、希望者を全員受入れできるよう検討する必要がある。
- ・「学校給食共同調理場事務運営事業」については、コンテナ代等の費用の確保や、食育という観点から、ごはん茶碗をもう1つ増やして、正しいマナーを身に着けさせることが大事である。

等があり、これらを優先課題として取り組んでいただくよう要望があったほか、委員の豊富な経験から、事業改善に向けた詳しいアドバイスもいただきました。

各事業について、優先順位を決めて長期的に計画し、「文教のまち西原」にふさわしい取り組みをして欲しいとのご意見もいただきました。

結びに

教育委員と有識者委員と合同でヒアリングを行い、各事業について積極的に質問し、教育委員会の事務事業の取組み、課題を知ることができました。

有識者委員の皆様にはお忙しいなか、ヒアリングから参加していただき、大変、貴重な意見をいただいたことに感謝いたします。いただいた意見、提言を真摯に受け止め、事業内容の充実、改善に役立てていく所存であります。

この点検評価も5回目となり、職員及び教育委員の意識も変わってきました。このように目に見える形で報告されることにより、職員は、P(Plan・計画)、D(Do・実行)、C(Check・評価)、A(Action・見直し)サイクルに沿って、常に課題を意識し自分の担当している事業をより良くするために、実行するようになりました。

教育委員も、教育委員会の事務事業の管理及び執行状況について責任を持って考え、現場へ適切なアドバイスを行い、意見するという意識も強くなりました。

今後も、関係機関との連携強化を図り、より良い教育行政の推進に努めてまいりたいと思います。